



学校だより

平成 27 (2015) 年 8 月 8 日

カンタベリー日本語補習校

校長 古川 明

《平成 27 年度 補習校評価アンケートの分析結果報告》

先月、学校評価アンケートの実施に際しまして、ご協力ありがとうございます。保護者・日本人コミュニティの皆様へ、分析結果の概要をご報告いたします。裏面に回収データのグラフが掲載してありますので、合わせてご覧ください。

保護者の皆様から「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて 90%以上の評価を得ている項目は、(1)、(3)、(4)、(6)、(8)、(9)、(10)、(13)、(14)、(15)、(16)、(17)、(18)です。一方、「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて 80%未満の評価となっている項目は、(11)です。

昨年度と比較して 90%以上の評価を得た項目が、12 項目から 13 項目へと増加しております。一方、80%未満の評価にとどまっている項目は、4 項目から 1 項目へと少なくなっています。

また、昨年度と比較して、各評価項目での増加の割合が高かった項目(10 ポイント以上の増加)は、(2)、(13)、(19)です。逆に、大幅に下がった項目(10 ポイント以上の低下)は、ありませんでした。

保護者の皆様から、「補習校の教育方針や教育目標、重点目標について、保護者に分かりやすく伝え、子どもたちの成長に役立つ内容である」と、昨年度に引き続いてご理解をいただいていることが分かります。さらに、「子どもたちに基礎・基本的な知識、技能の習得と共に、学習の方法や学び方を習得・活用させることに努める」ことや、「保護者や日本人コミュニティの方々に補習校の教育活動への参加を呼びかけている」ことに、引き続きご理解をいただいていることが分かります。

しかし、「補習校は、思いやりの心をもった子どもを育てるために心の教育を進めている」、「子どもは、補習校や友達のことをよく話します」について、高い評価はされていません。今後とも、保護者皆様からのご意見を伺いながら、補習校教育の充実を努めてまいります。また、「緊急時の具体的対応について」は、保護者皆様の理解が少しずつ進んできておりますが、十分な理解には至っておりません。今後とも、周知に努めてまいります。

補習校評価アンケートについて、昨年度と今年度の回答を分析した結果、以下のことが考えられます。

(1) 保護者皆様は、今後とも子どもたちに基礎・基本的な知識・技能の習得と、学習方法や学び方の習得・活用が高まる指導を期待されています。学力の転移性から考えてみましても、補習校教育が知識・技能の習得にとどまる限り、子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせることは不可能です。保護者皆様が求められている学力は、子どもたちが学んだ内容を活用・応用して、適切な情報収集と分析を行い、新たな考えや工夫・改善を導き出す学力(課題解決力)であると思います。

個別学習では、多岐・多様にわたる問題意識を育てるには限界があります。個別学習と全体学習を相互に有機的に関連付けることで、学び合い学習の質が高まり、習得、活用、探求が螺旋状に行うことが可能になります。このような学習展開を進めることが、子どもたちに「確かな学力」を身につけさせることとなります。そのため、研究テーマを設定して、「めざす児童・生徒像」と「その児童・生徒像にせまる手立て」を予め設定して、各教員は研究授業を行い、その授業について研究協議を行うことで、子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせる授業(授業改善)につなげることができます。各教員に継続して求められている授業研究は、子どもたちの学力を向上させる重要な鍵であり、保護者皆様が強く望み、期待されている点であります。

(2) 子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるためには、学習指導時間の確保が必要であるという理解が、保護者皆様の中に広がってきています。補習校の指導時間数については、他の補習校と比べて大変少なく、各教員は授業の進度に最大の注力を振り向ける現状に至っております。今年度から算数・数学科の授業は、60 分間授業を実施しております。それに伴い、昨年度と比較して学習展開の違いや子どもたちの理解の様子、感想について、後日、懇談会等で報告をさせていただきます。

(3) 補習校の教育は、補習校での学習と家庭での学習が 5 : 5 で統合された結果、基礎・基本的な知識・技能の習得と活用が身に付くのであることを、保護者皆様はよく理解されていらっしゃると思います。子どもたちの家庭学習の習慣付けや学習指導に、ご支援ご協力をいただき大変感謝いたしております。家庭と学校の連携は大変重要であります。家庭への学習連絡方法は、子どもの成長と在籍学年によって違いがありますが、引き続き担任と連絡を密に取りながら、分からないことがありましたらお尋ねいただきたいと思います。

保護者座談会に、ご出席いただきお礼申し上げます！

東京都の中学校英語科教員との座談会は、8 月 1 日に行われました。6 名の英語科教員は、二つのグループに分かれ、事前の質問項目も含め保護者側の質問に丁寧に答えてくださいました。今の中学校、高等学校における生徒の様子や教育内容について紹介があり、細かい内容等については各学校によって違いがあるので、予め関係区市教育委員会、都教育委員会に問合せさせていただいた旨、話がありました。座談会は、笑いもあり温かな雰囲気のもと、楽しく話し合いが行われました。今回は、中学校の現場で活躍している先生方の生の声を聞くことができ、良い機会でありました。その後、英語科教員 6 名は、本校中学部 1・2・3 年生の授業を参観されました。

本校の中学生の様子を「学習規律があること、ノートの文字は丁寧に分かりやすく書いていること、授業のスピードにしっかりと付いて来ていること」、「日本の中学校に戻ってもキャッチアップは十分可能である」と、複数の中学教員が感心しながら述べていました。中学校 6 名の英語科教員は、語学研修の多忙期でありましたが、本校の座談会に時間を割いていただきましたことに感謝申し上げます。

補習校の保護者皆様・各教員は、大きな自信と元気をいただくことができました。今後とも、補習校の子どもたちのため、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

